



予防事業だより

平成19年度

ぜん息児水泳記録会



今年の水泳記録会の日程が決まりました!

大阪… 9月2日(日)

東京… 10月13日(土)

詳細は9ページをご覧ください。

昨年度は、こんな声が寄せられました!



保護者より

- 医師、スタッフにサポートをしていただけたので安心して参加できて良かったです。
- ぜん息の改善のために始めた水泳ですが、目標が見えなくなっていた時だったので、この記録会がよい目標になりました。



参加児童より

- みんなががんばっている姿を見て、励みになりました。
- オリンピック選手になった気分がよい思い出になりました。

目次

イベント開催報告

- (エコカーワールド2007) 2
- (エコライフ・フェア2007) 3

公害健康被害予防事業

- 予防事業の業務紹介 4
- 平成19年度予算の概要と事業のポイント 5

調査研究発表会

- 調査研究発表会(保健・改善) 6

大気汚染防止推進月間事業のお知らせ

- ポスター募集、エコドライブコンテスト 7

機構と自治体が開催する事業の紹介

- ぜん息予防等講習会(川崎市) 8

イベント等の開催予定(お知らせ)

- ぜん息児水泳記録会、ぜん息予防等講演会
ぜん息予防等講習会、低公害車フェア 9

新刊パンフレット等のご案内

- パンフレット・パネル
お申込み方法・お問い合わせ先 10

その他の事業

- ぜん息電話相談室、機能訓練研修 11
- ぜん息電話相談室のお知らせ 12

イベント開催報告

毎年6月は「環境月間」として、6月5日の「環境の日」を中心に各地でいろいろな行事が行なわれています。今年も6月2日（土）、3日（日）の2日間にイベントが開催されました。

エコカーワールド2007



会場入り口

エコカーワールドも今年で22回目を迎えました。今年のテーマは「見て楽しい 乗って楽しいが勢ぞろい ~あなたとだから、できるeco~」。今年も最新の電気自動車や燃料電池自動車などの低公害車（エコカー）が約80台展示された他、お子様が電気自動車の運転を疑似体験できるコーナーやソーラーカーを作って専用コースで走らせるコーナー、自分で描いた絵やスタンプを押して自分だけのマイ・エコバッグを作るコーナーなど、たくさんの体験コーナーがあり、「エコ」を身近に魅力を感じられるイベントに多くの方が訪れました。

エコカーワールド2007

主催：環境省、環境再生保全機構、横浜市
会場：横浜みなとみらい21赤レンガ倉庫
来場者：6万7千人（2日間）

エコカーキャラクター
アスカーくん



大臣を迎えてテープカット



マイエコバッグをつくろう!!



ソーラーカー



環境再生保全機構ブース



会場の様子

見て楽しい 乗って楽しいが勢ぞろい
ECO CAR WORLD 2007
あなたとだから、できるeco.



お買い物にマイバックを使ったり、
エコドライブを心がけたりすることから、
あなたも実践してみませんか？

2日間とも暑いほどの晴天に恵まれ、たくさんの方にご来場いただくことができました。
ありがとうございました！

エコライフ・フェア2007

エコライフ・フェア2007

主催：環境省、環境再生保全機構、他
会場：代々木公園ケヤキ並木（NHKホール前）
来場者：6万3千人（2日間）



地球温暖化防止キャラクター
アスミちゃん



会場入り口



CO2を目で見ると…!



トークイベント



環境学習コーナー



パネル紹介



クイズに挑戦!



環境再生保全機構ブース

エコライフ・フェアは今年で18回目を迎えました。
参加企業・団体の出展ブースでは、クールビズや
エコドライブ、環境保全、環境保護などに関して展
示が行われ、多くの家族連れや若者たちがクイズ
やスタンプラリーに参加する光景が見られました。
今年の機構ブースのテーマは、「楽しく学ぼう!環
境問題とエコドライブ」。環境にやさしい運転「エ
コドライブ」のパネル展示をはじめ、低公害車や地
球温暖化などについて、クイズ形式で紹介しました。

個人補償から地域住民の健康被害予防への転換

現在の大气汚染の状況は、昭和30年代、40年代の著しい大气汚染の状況とは異なり、ぜん息等の病気の主たる原因とはいえ、ぜん息等の患者に対する民事責任を踏まえた補償を行うほどではありませんが、これらの病気に対して何らかの影響を及ぼしている可能性は否定できません。こうした大气汚染の状況の変化を踏まえ、昭和63年3月1日に第一種地域の指定解除が行われ、個人に対する個別の補償から、公害健康被害予防事業の実施など、地域住民の健康被害の予防に重点を置いた総合的な環境保健施策が積極的に推進されています。

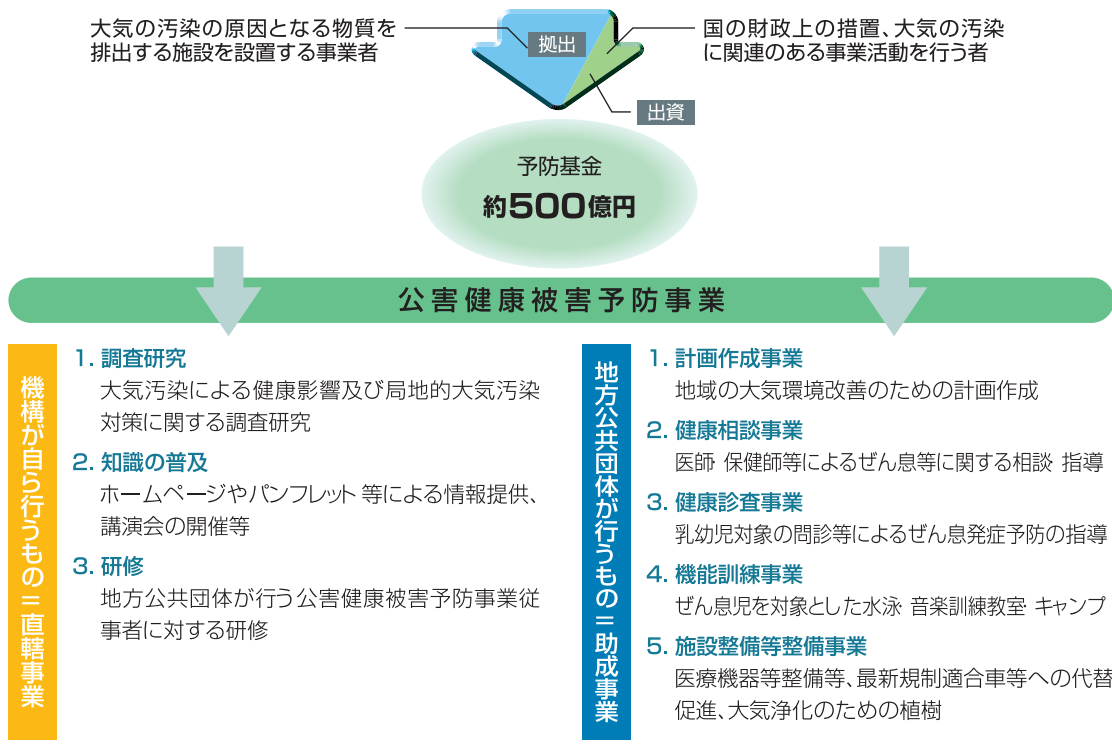
助成事業等の対象地域は、旧第一種地域41地域とこれに準ずる地域として定められた6地域の計47地域です。



公害健康被害予防事業の仕組み

公害健康被害予防事業は、大气汚染の影響による健康被害の予防に寄与するため、従来から国や地方公共団体が行ってきているぜん息等に対する対策や大气汚染の改善に関する施策を補完し、地域住民の健康の確保を図る

ことを目的として実施しています。事業に要する費用は、機構に公害健康被害予防基金（約500億円）を設け、その運用益により賄うこととしています。

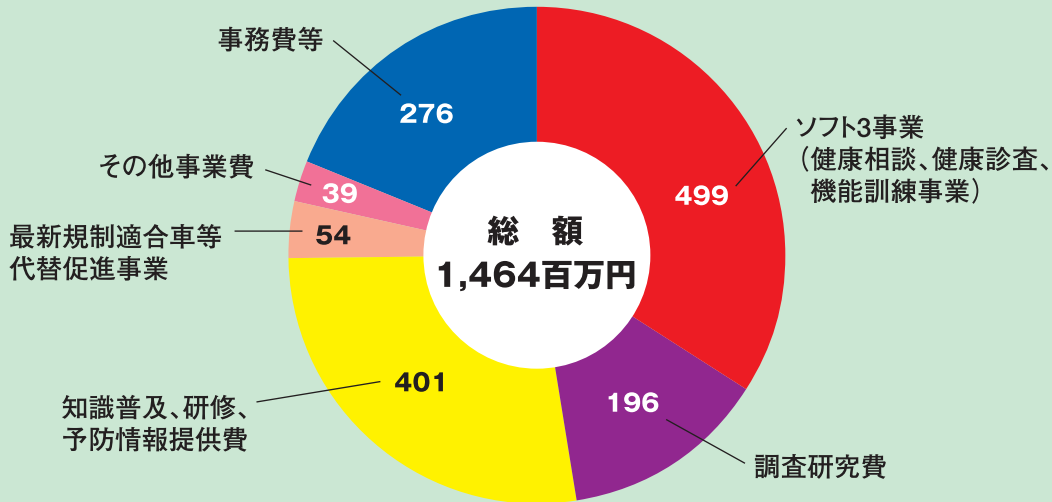


平成19年度公害健康被害予防事業 予算の概要と事業のポイント

独立行政法人環境再生保全機構中期計画に基づき平成19年度の業務運営に関する計画（年度計画）を定め、平成19年度予算を作成しました。

19年度公害健康被害予防事業予算の概要

単位：百万円



注) ①予算額は百万円単位で四捨五入しているため、総額と一致しない。

②その他の事業費には、医療機器等整備事業、大気浄化植樹事業等に係る事業費が含まれる。

平成19年度公害健康被害予防事業のポイントは次のとおりです。

①ソフト3事業

(健康相談、健康診査、機能訓練事業)

公健法旧第一種地域等の住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業に重点化を図ります。

適切かつ計画的な事業内容であれば、要望額はすべて助成することを基本とします。



健康診査事業



機能訓練事業(水泳教室)

②知識普及事業

①のソフト3事業の実施に必要なパンフレットの作成、ぜん息専門医による講演会の開催、ぜん息電話相談等の事業を積極的に実施します。



パンフレット



ぜん息電話相談室

③大気環境の改善事業

エコドライブ(環境にやさしい自動車運転)に関して、事業所や自治体、一般の方々の取り組みを進めるために、様々な事業を展開します。



エコドライブコンテスト



エコマネージャ



パネル

調査研究事業発表会

機構では、大気汚染の影響による健康被害を予防するために必要な事業の一環として、調査研究事業を行なっています。大きく分けて環境保健分野と環境改善分野に分けられ、環境保健分野では3月に、環境改善分野では5月に、前年度に実施した調査研究の発表を行いました。

研究成果や評価委員による評価結果の内容については、今後ホームページで掲載を予定しています。

第18回環境保健調査研究報告会（環境保健分野）

3月11日（日）時事通信ホール（東京都中央区）にて、平成18年度に実施した「第7期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（1年目）」の内容、次年度以降の方向性などについて、研究者より発表していただきました。当日は研究者、自治体の方など関係者62名に参加していただきました。



【第7期大気汚染による健康影響に関する総合的研究（1年目）】

I 気管支ぜん息発症予防のための日常生活の管理・指導に関する調査研究

- ・気管支ぜん息の発症リスク低減に関わる因子の検索と管理・指導への応用に関する調査研究
- ・乳幼児のぜん息ハイリスク群を対象とした保健指導の実践および評価手法に関する調査研究

II 気管支ぜん息患者の長期管理支援、保健指導に関する研究

- ・気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究
- ・小児及び思春期の気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究
- ・成人気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究

III COPD患者の増悪回避、QOL向上のための管理・指導に関する調査研究

- ・COPD患者の病期分類等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究

●環境再生保全機構ホームページから……「ぜん息などの情報館」→「調査研究・統計情報など」



⇒ 調査研究・統計情報など

環境改善調査研究成果発表会（環境改善分野）

5月15日（火）東京グランドホテル（東京都港区）にて、平成18年度に実施した「局地的大気汚染対策に関する調査研究」について、その成果の発表を行いました。研究者の他に、一般の方や自治体の方など約80名の方に参加していただき、活発な意見交換がなされました。



【局地汚染対策事業の有効性等に関する調査研究（2年目）】

I 窒素酸化物及び粒子状物質に係る排出ガス診断装置の実用性に関する調査研究

II 大気汚染の改善に資する交通流対策に関する調査研究

III 高活性炭素繊維を用いた沿道排ガス削減技術に関する調査研究

IV 局地汚染地域における窒素酸化物及び浮遊粒子状物質の複合的削減のための対策技術に関する調査研究

●環境再生保全機構ホームページから……「大気環境の情報館」→「環境再生保全機構が行っている調査研究」



平成19年度大気汚染防止推進月間事業のお知らせ

毎年、環境省と環境再生保全機構、全国都道府県では、都市における大気汚染物質濃度が一年のうちで高くなる12月の一ヶ月間を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物や浮遊粒子状物質等の排出低減を広く呼びかけています。現在、機構では事業の一環として下記の募集を行っています。たくさんのご応募をお待ちしています。

★平成19年度大気汚染防止推進月間ポスターの図案募集!

大気汚染防止を呼びかけるポスターの図案を公募します。優秀作品は今年度の「大気汚染防止推進月間」のポスターとして全国の都道府県各地に掲示されるほか、来年のカレンダー等に活用されます。

あなたの描いた空への想いが、ポスターやカレンダーになって全国で掲示されます。

■応募締め切り

平成19年9月17日（月・祝）当日消印有効

■発表

平成19年10月下旬

入賞者に直接通知します。



青い空が描きたいな、いつまでも。



<前年度受賞作品>

平成19年度大気汚染防止推進月間ポスター図案募集

詳しくは、機構ホームページのトップページ (<http://www.erca.go.jp/>) のバナーからご覧ください。

★平成19年度大気汚染防止推進月間エコドライブコンテスト参加事業者募集!

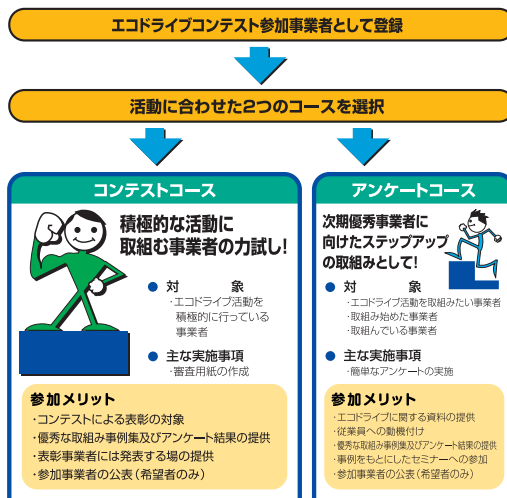
このコンテストは、急発進や急加速をしないなど、環境にやさしい運転「エコドライブ」を全国に普及させることを目標として、事業者のエコドライブの取組みを競うものです。

今年度からは、募集エリアを全国に拡大するとともに、これまでの「コンテストコース（審査・表彰）」に加えて、「アンケートコース」を設けました。

エコドライブ活動に積極的に取り組んでいる事業者は自社の取組みの力試しとしてコンテストコースへ、これから取組もうとしている事業者はそのきっかけとしてアンケートコースに参加し、エコドライブ活動のステップアップに取り組まましょう。



詳しくは、機構ホームページのトップページ (<http://www.erca.go.jp/>) のバナーからご覧ください。



機構と自治体が主催する事業の紹介

ぜん息予防等講習会

ぜん息児の快適な学校生活等を支援するため、各地域のぜん息児等の保健指導に携わる方を対象に、講習会を実施しています。このページでは、今年6月に行われた川崎市のぜん息予防講習会をご紹介します。

川崎市ぜん息予防等講習会〈概要〉

講義では、発作が起きていなくても気道の炎症がおさまらなければぜん息が治ったとは言えないこと、きちんと治すためには気道の慢性炎症を抑えるために服薬が大切だということなど、基本的知識から症状が出た時の対処方法まで、幅広くお話しいただきました。

テーマ・講師	開催日	会場	参加者数	対象者
・気管支ぜん息の基礎知識と発作時の対応 ・アトピー性皮膚炎の基礎知識 講師：赤澤 晃 先生 （国立成育医療センター総合診療部 小児期診療科医長教育研修部長）	6月7日	中原区役所会議室 502号室	69名	保育園保育士、看護師 保健福祉センター保健師 小学校養護教諭、教師等

参加者の声



■日ごろから乳幼児健診に立ち会っています。ぜん息やアレルギー疾患を持っている乳幼児に対して、保護者が正しい知識を持ち、管理できているかどうかを確認することが大切だということ学びました。
（市内保健所・保健師 江原 薫さん）

■アトピー性皮膚炎の皮膚の保湿についてや、かゆみ止めの薬の塗り方など、基本的なことから説明があり、とても参考になる内容でした。学んだことを現場で活かしたいと思います。
（保育園・保育士 岡村 淑子さん）

■ぜん息のメカニズムや発作時の対応の仕方、アトピー性皮膚炎のケアの方法が具体的に分かりました。
（教育委員会・指導主事 藤原 淳子さん）

自治体担当者の声



■最新情報を伝えて下さる講師に大変恵まれていると感謝しています。今回は、保育園・保健所関係職員が他の事業と重なり、日程や場所の調整等の企画に苦慮しました。今後もできるだけ多くの職員に参加してもらい、市民のお役にたてる事業をすすめていきたいと思います。
（川崎市 健康福祉局 保健医療部 環境保健課 健康管理担当 保健師 高階 美智代さん）

講師の声



■運動誘発喘息や湿疹は、子どものQOL（生活の質）を低下させています。症状があるのに十分な治療を受けていない場合は救急受診や喘息死の要因にもなります。そうした子どもを見つけ出し、継続的な治療ができるように指導できるのは、学校の先生や地域で子どもに接している方々です。
（国立成育医療センター総合診療部 小児期診療科医長教育研修部長 赤澤 晃先生）



講義風景



質疑応答

当日寄せられた質疑応答の一例

Q:「運動誘発性ぜん息の場合、運動はしないほうがいいのでしょうか？」

A:「運動誘発性ぜん息だからといって、運動をしないといけないわけではありません。発作が起きないように服薬して症状をコントロールした上で、できる範囲で運動することが大切です。」

事業に関するお問い合わせ先

環境再生保全機構 予防事業部 環境保健課 電話：044 - 520 - 9572

川崎市 健康福祉局 保健医療部 環境保健課 健康管理担当 電話：044-200-2436

イベント等の開催予定(お知らせ)

■低公害車フェア

	開催予定日	共催・お問い合わせ	会場
環境デーなごや2007	9月23日(日)	名古屋市 ☎環境局公害対策部交通公害対策課 052-972-2682	久屋大通公園
北九州エコカーフェア2007	10月中に開催	北九州市 ☎環境局環境部交通環境課 093-582-2238	リバーウォーク北九州
低公害車フェアinKOBÉ2007	10月20日(土)～21日(日)	神戸市 ☎環境局環境保全部環境管理課 078-322-5305	しあわせの村
エコ・カーフェア埼玉2007(仮称)	11月中旬の2日間	埼玉県 ☎環境部青空再生課 048-830-3063	川口駅東口公共広場 (キューポラ広場)

■ぜん息児水泳記録会

「平成19年度ぜん息児水泳記録会」運営事務局 ☎0120-168-752 ✉email: dolphin@tsp-taiyo.co.jp

	予定日	会場
水泳記録会(関西地区)	9月2日(日)	大阪プール(大阪市港区)
水泳記録会(関東地区)	10月13日(土)	東京辰巳国際水泳場(東京都江東区)

■ぜん息の予防等に関する講演会(対象:一般)

開催自治体	予定日	会場	講師
玉野市 保健福祉部健康増進課 ☎0863-31-3310	8月7日 (火)	玉野市総合保健福祉センター (岡山県玉野市)	伊藤節子先生 (同志社女子大学教授)
四日市市 環境部環境保全課 ☎059-354-8278	10月27日 (土)	四日市市総合会館8階	藤澤隆夫先生 (国立病院機構三重病院臨床研究部長)
神奈川県 保健福祉部健康増進課 ☎045-210-4786	11月10日 (土)	小田急センチュリーホテル 相模大野	高増哲也先生 (神奈川県立子ども医療センターアレルギー科医長)
東京都 福祉保健局環境保健課 ☎03-5320-4494	11月12日 (月)	こまばエミナース	鈴木五男先生 (山王病院小児科部長)
神戸市 保健福祉局環境保健課 ☎078-322-5248	12月1日 (土)	神戸市勤労会館	亀崎佐織先生 (かめさき子ども・アレルギークリニック院長)
富士市 福祉保健部健康対策課 ☎0545-64-8994	1月10日 (木)	富士市フィランセ4階ホール	山本昇壯先生 (広島大学名誉教授)

■ぜん息の予防等に関する講習会(対象:指導者～公立学校等の養護教諭等～)

対象・お問い合わせ先	予定日	会場	講師
東京都 福祉保健局環境保健課 ☎03-5320-4494	8月21日 (火)	東京都社会福祉保健医療研修センター	岸田勝先生 (東邦大学医療センター大橋病院小児科准教授)
東京都 特別区房総地区養護学校 目黒興津(おきつ)健康学園 ☎0470-76-3111	8月24日 (金)	南房総市富山公民館	渡邊博子先生 (国立病院機構下志津病院小児科・ アレルギー科病棟部長、小児科医長)
静岡県 厚生部医療健康局疾病対策室 ☎054-221-2539	9月29日 (土)	静岡商工会議所「大ホール」	高増哲也先生 (神奈川県立子ども医療センターアレルギー科医長)
東海市 市民福祉部保健福祉課 ☎052-689-1600(510)	10月5日 (金)	東海市しあわせ村多目的ホール	坂本龍雄先生 (名古屋大学大学院医学系研究科准教授)
杉並区 教育委員会事務局労務課 ☎03-3312-2111(1629)	未定	未定	未定
名古屋市 環境局公害保健課 ☎052-972-2688	11月26日 (月)	未定 (名古屋市市役所又は保健所)	佐久間清美先生 (愛知県立看護大学教授)
	12月5日 (水)	未定 (名古屋市内の文化施設)	伊藤浩明先生 (あいち小児保健医療総合センターアレルギー科医長)

新刊パンフレット等のご案内

パンフレット（保健）

ケア・指導・園/学校での対応のための 知っておきたい食物アレルギー基礎知識



食物アレルギーの最新データ・基礎知識をはじめ、診断・検査・治療法、食事療法の実際、社会的対応などをまとめました。まんがで読む「ひやりはっと集」もあります。

平成19年9月頃発行予定
A4判 64頁

パンフレット（保健）

家族みんなの体にやさしい 食物アレルギーをもつ子どものヘルシーレシピ



3大アレルゲン（卵・牛乳・小麦粉）を使わなくてもおいしく作れる食事やおやつレシピ、離乳食や食事療法の上質な進め方などを掲載しています。

平成19年9月頃発行予定
A4判 70頁

パンフレット（保健）

教えて!こどものぜん息 ～赤ちゃんのときからできること～



乳幼児期におけるぜん息の発症の阻止、悪化の予防と対策、治療方法・日常管理等についてのポイントをQ & A方式でまとめた冊子です。

平成19年7月発行
A4判 20頁

パネル（改善）

エコドライブ10のすすめ



「エコドライブ10のすすめ」

について、図や表を交えてわかりやすく紹介したパネルです。

平成19年6月作成：B全サイズ 6枚1組

パンフレット等の お申し込み・お問い合わせについて

環境再生保全機構では、パンフレット等の無料配布、各種パネルやビデオ・DVD・CD等の貸し出しを行っています。お申し込みはお電話（平日9:00～18:00）、またはFAX、ホームページの申し込みフォームから受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

ぜん息等に関するものはこちらへ

予防事業部 環境保健課 電話044-520-9568

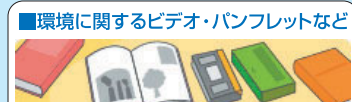
環境再生保全機構ホームページから……「ぜん息などの情報館」→「パンフレット&ビデオ」



大気環境に関するものはこちらへ

予防事業部 環境改善課 電話044-520-9567

環境再生保全機構ホームページから……「大気環境の情報館」→「環境に関するビデオ・パンフレットなど」



FAXでのお申し込みはこちらへ **FAX 044-520-2134**

機構が実施するその他の事業

ぜん息電話相談室

ぜん息電話相談室では、ぜん息の薬や症状、日常生活に関する注意点などの質問を受け付け、相談員がアドバイスを行っています。お気軽にご相談ください。詳細は、次のページ(裏表紙)をご覧ください。

お電話から

(呼吸はいーよ)

フリーダイヤル：0120-598014

受付曜日・時間：

月～金(祝祭日を除く) 9:00～17:00

ホームページから

「ぜん息電話相談室」ホームページにある

「メール相談フォーム」からご相談ください。

FAXから

ご氏名、年齢、性別、住所、

電話番号、FAX番号を明記のうえ、

03-3571-3372 まで送信してください。

ぜん息電話相談室には、こんな質問が寄せられています。

薬剤について

Q. 発作のときに気管支拡張剤を吸入すると言われていますが、どの程度の症状から使えばよいですか？

A. ぜん息発作は我慢しているうちに重症化して危険な状態になることもあります。苦しくなったら早めに使って差し支えありませんが、吸入しても症状が改善しない場合は受診する必要がありますので、主治医の先生に相談してください。

症状に関する相談について

Q. ぜん息で治療中で、風邪の後に発作がでることがあります。インフルエンザの予防接種は受けたほうが良いのでしょうか？

A. ぜん息の患者さんが風邪やインフルエンザにかかると、ぜん息が悪化することがあるので、インフルエンザの予防注射はぜん息予防としても良い方法です。

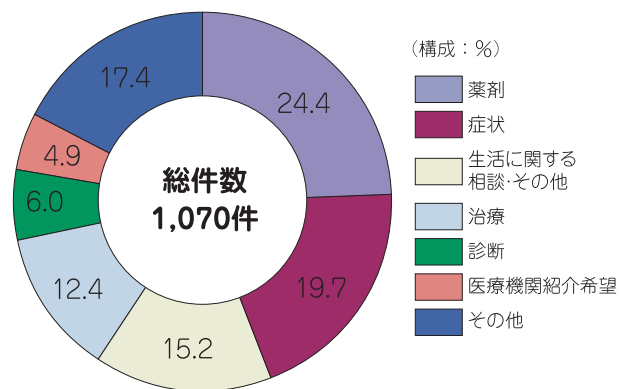
生活に関する相談について

Q. 子どもに水泳をさせたいのですが、大丈夫でしょうか？

A. 水泳はぜん息の患者さんにとって運動誘発性ぜん息を起こしにくいスポーツですので、お勧めです。

相談内容(平成18年度)

平成18年4月3日～平成19年3月30日(実日数235日間)の期間中に、相談室には1,070件の相談が寄せられました。



機能訓練研修

6月19日(火)～6月21日(木)の3日間、機能訓練事業に携わる保健師・指導員及び事務担当者の方を対象に、事業への理解を深め各種事業の実施に必要な知識及び技術を習得し事業に活かすことを目的に、機能訓練研修を開催しました。

講義内容：専門医等によるぜん息の基本から最新情報の提供、音楽教室の指導法等。今回は実習としてスポーツ吹矢も体験しました。



音楽療法の実習風景

輪になってリズムをとりながら、「♪線路は続くよ どこまでも——♪」のぼして歌っている時にはお腹に手を当てて、腹式呼吸を意識します。



スポーツ吹矢の実習風景



「矢」とはとっても先端はとがっていません。



音楽療法について

ぜん息の発作時には、腹式呼吸が大切です。呼吸というとならず「吸う」という動作をしてしまいますが、既に吸っている空気を「吐く」ことから始め、新しい空気を取り入れましょう。「呼吸」という字の如く、まず、「吐く」ことが重要なのです。福田先生の音楽療法の講義では、ビッチパイプや歌を用いて、楽しみながら腹式呼吸の指導法を学びました。

スポーツ吹矢について

この研修で、初めてスポーツ吹矢の実習を取り入れました。今回紹介した(社)日本スポーツ吹矢協会の「スポーツ吹矢」は、単に吹矢を吹いて得点を競うのではなく、「吹く」までに深い呼吸(腹式呼吸)を行うのが特徴です。

的に矢が当たったときの爽快感はさることながら、深く呼吸をすることで、腹筋が鍛えられていることを実感しました。



この症状もしかして
ぜん息かしら?

保健師さんや
お医者さんに無料で
相談できますよ。



今の治療法で
いいのかしら?



いいお薬・治療法
ありませんか?



毎日どんな事に
気を付けたいの?

ぜん息は、 悩まずに ぜん息電話相談室へ

相談
無料

ご相談ください。

フリーダイヤル

こきゅうはいーよ

0120-598014

保健師・専門医がお答えします。〔受付曜日・時間〕月～金（祝祭日を除く）9:00～17:00 学生さんも大人も相談できます。

ぜん息に関する治療法、お薬、予防法、介護、看護、運動、学校生活、出産、日常生活での注意点等をアドバイスいたします。相談室では診療は行っていません。ご相談はフリーダイヤルのほか、右記FAX、メールでも受付しています。どうぞご利用ください。

FAX.03-3571-3372
<http://www.zensoku.pr.arena.ne.jp>

ご氏名、年齢、性別、住所、電話番号、FAX番号を明記のうえ、上記のFAX番号またはホームページよりお送りください。



健康被害予防事業だより 第38号 2007年7月号 発行 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部管理課

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー8F TEL:044-520-9564 (ダイヤルイン) FAX:044-520-2134

次号 (No.39) は、2008年1月に発行予定です。